

平成29(2017)年度以前入学者 教養教育科目読替表

【五福教養教育】

部会名	令和4年度以降に開設する授業科目	単位数	備考	入学時に定められた開設授業科目	単位数
人文科学系			対応科目なし	教養原論演習	2
社会科学系			対応科目なし	教養原論演習	2
自然科学系	自然科学への扉-A	2		⇔ 物理の世界	2
	自然科学への扉-B	2	※注1	⇔ 地球と環境	2
	自然科学への扉-C	2		⇔ 化学物質の世界	2
	科学技術への扉-A	2	※注2	⇔ 自然と情報の数理	2
	科学技術への扉-B	2		⇔ 技術の世界	2
				⇔ 材料の科学	2
総合科目系			対応科目なし	⇔ 生活の科学	2
	ジェンダー	2		⇔ コンピュータの話	2
	富山の地域づくり	2		⇔ 教養原論演習	2
	時事的問題	2		⇔ ジェンダー(性)	2
			対応科目なし	⇔ 現代文化	2
			対応科目なし	⇔ 現代の世界(時事的問題)	2
	富山のものづくり概論	2	※注3	⇔ トータルコミュニケーション	2
	アカデミック・デザイン	2	※注3	⇔ 心(こころ),身体(からだ),そして生命(いのち)	2
	ビジネス思考	2	※注3	⇔ 職業と人生	2
	平和学入門	2	※注4	⇔ 総合科目特殊講義「平和学入門」	2
			対応科目なし	⇔ 総合科目特殊講義「新聞投稿に挑戦」	2
	東アジア共同体論-政治・経済・文化-	2	※注4	⇔ 総合科目特殊講義「東アジア共同体論」	2
	富山から考える震災・復興学	2	※注4	⇔ 総合科目特殊講義「富山から考える震災・復興学」	2
	環境と安全管理	2	※注4	⇔ 総合科目特殊講義「環境マネジメント」	2
日本事情/芸術文化	2		⇔ 日本事情Ⅰ	2	
日本事情/自然社会	2		⇔ 日本事情Ⅱ	2	
外国語系	基盤英語Ⅰ	1		⇔ 英語A	1
	基盤英語Ⅱ	1		⇔ 英語A	1
	ESPⅠ(Level-based)	1		⇔ 英語A	1
	ESPⅡ(Interest-based)	1		⇔ 英語A	1
			対応科目なし	⇔ 英語B	1
	ドイツ語基礎Ⅰ	1		⇔ ドイツ語A1G	1
	ドイツ語基礎Ⅱ	1		⇔ ドイツ語A2G	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		⇔ ドイツ語A1	1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		⇔ ドイツ語A2	1
	発展多言語演習ドイツ語	1		⇔ ドイツ語B	1
	フランス語基礎Ⅰ	1		⇔ フランス語A1G	1
	フランス語基礎Ⅱ	1		⇔ フランス語A2G	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1		⇔ フランス語A1	1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1		⇔ フランス語A2	1
			対応科目なし	⇔ フランス語B	1
	ロシア語基礎Ⅰ	1		⇔ ロシア語A1G	1
	ロシア語基礎Ⅱ	1		⇔ ロシア語A2G	1
	ロシア語コミュニケーションⅠ	1		⇔ ロシア語A1	1
	ロシア語コミュニケーションⅡ	1		⇔ ロシア語A2	1
			対応科目なし	⇔ ロシア語B	1
	中国語基礎Ⅰ	1		⇔ 中国語A1G	1
	中国語基礎Ⅱ	1		⇔ 中国語A2G	1
	中国語コミュニケーションⅠ	1		⇔ 中国語A1	1
	中国語コミュニケーションⅡ	1		⇔ 中国語A2	1
	発展多言語演習中国語	1		⇔ 中国語B	1
	朝鮮語基礎Ⅰ	1		⇔ 朝鮮語A1G	1
	朝鮮語基礎Ⅱ	1		⇔ 朝鮮語A2G	1
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1		⇔ 朝鮮語A1	1
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1		⇔ 朝鮮語A2	1
			対応科目なし	⇔ 朝鮮語B	1
			対応科目なし	⇔ ラテン語B3	1
			対応科目なし	⇔ ラテン語B4	1
	日本語リテラシーⅠ	1		⇔ 日本語A1	1
	日本語リテラシーⅡ	1		⇔ 日本語A2	1
日本語コミュニケーションⅠ	1		⇔ 日本語A1	1	
日本語コミュニケーションⅡ	1		⇔ 日本語A2	1	
日本語コミュニケーションⅢ	1	※注5	⇔ 日本語B	1	
日本語/専門研究	1	※注5	⇔ 日本語B	1	
保健体育系	健康・スポーツ/講義	1		⇔ 健康・スポーツ論	1
	健康・スポーツ/実技	1		⇔ 健康スポーツ	1

※注1 「自然科学への扉-B」の単位を修得した場合、「地球と環境」、「化学物質の世界」のいずれか1科目において単位の修得を認める。
 ※注2 「科学技術への扉-A」の単位を修得した場合、「技術の世界」、「材料の科学」、「生活の科学」のいずれか1科目において単位の修得を認める。
 ※注3 「職業と人生」の単位を修得していない者は、「富山のものづくり概論」、「アカデミック・デザイン」又は「ビジネス思考」のうち、いずれか1科目において、「職業と人生」として単位の修得を認める。
 ※注4 総合科目特殊講義(平成29年度以前)は、テーマが異なる複数の科目を開講しているが、修得できる単位数の上限は2単位とする。
 ※注5 「日本語B」の単位を修得していない者又は1単位修得した者は、「日本語コミュニケーションⅢ」又は「日本語/専門研究」のうち、いずれか1科目又は2科目において、「日本語B」の読替として単位の修得を認める。修得できる単位数の上限は2単位とする。

平成29(2017)年度以前入学者 教養教育科目読替表

【医学部医学科】

部会名	令和4年度以降に開設する授業科目	単位数	備考	入学時に定められた開設授業科目	単位数
人文科学系	哲学のすすめ	2	※注1	⇔ 哲学的人間学	2
	人間と倫理	2		⇔ 科学技術論	2
	日本文学	2		⇔ 現代のエチカ	2
	西洋の歴史と社会	2		⇔ 文学論	2
	日本の歴史と社会	2		⇔ 西洋の歴史と文化	2
	美術	2		⇔ 日本の歴史と文化	2
	異文化間コミュニケーション	2		⇔ 人間と美	2
	現代と教育	2		⇔ 異文化理解	2
	言語表現	2		⇔ 教育学	2
				⇔ 論理と表現	2
社会科学系	市民生活と法	2		⇔ 比較地域構造論	2
	はじめての経済学	2		⇔ 人間文化科学セミナー	2
	国家と市民	2		⇔ 現代社会と法	2
			対応科目なし	⇔ 経済学	2
			対応科目なし	⇔ 現代の政治	2
理系基盤教育系	生命科学Ⅰ-A	2	1単位として読み替える	⇔ 比較地域構造論	2
	生命科学Ⅱ-A	2	1単位として読み替える	⇔ 人間文化科学セミナー	2
	生物学実験-A	1		⇔ 生命科学Ⅰ	1
	解析学-A	2	1単位として読み替える	⇔ 生命科学Ⅱ	1
	線形代数学	2		⇔ 生物学実験	1
	物理学Ⅰ-A・B	2	1単位として読み替える	⇔ 解析学	1
	物理学Ⅱ-A・B	2	1単位として読み替える	⇔ 数理科学	2
	化学・物理学実験-A	1	必ず担当教員に申告し、履修指示を受けること	⇔ 物理学Ⅰ	1
	基礎化学-A	2	1単位として読み替える	⇔ 物理学Ⅱ	1
	生体有機化学	2	1単位として読み替える	⇔ 物理学実験	1
			対応科目なし	⇔ 化学実験	1
			対応科目なし	⇔ 基礎化学	1
医療・健康科学系	医療と地域社会	2	※注2	⇔ 生体有機化学	1
	概説医療心理学	1		⇔ 自然現象のモデル化とその解析	2
	生命科学入門	2	1単位として読み替える	⇔ 量子化学入門	2
			対応科目なし	⇔ 統計数字の読み方	2
			専門科目	⇔ 医と社会	2
総合科目系	ジェンダー	2		⇔ 医療と法	2
	日本事情／芸術文化	2	※注3	⇔ 医療と経済	2
	日本事情／自然社会	2	※注3	⇔ 心の科学	1
外国語系	基盤英語Ⅰ	1		⇔ 生命科学入門	1
	基盤英語Ⅱ	1		⇔ 保健と福祉	2
	ESPⅠ (Level-based)	1		⇔ 行動科学	1
	ESPⅡ (Interest-based)	1		⇔ ジェンダー論	2
	ESPⅠ (Level-based)・Ⅱ (Interest-based)	1	※注4	⇔ 日本事情	2
	ドイツ語基礎Ⅰ	1		⇔ 英語(講読Ⅰ)	1
	ドイツ語基礎Ⅱ	1		⇔ 英語(講読Ⅱ)	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		⇔ 英語(会話Ⅰ)	1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		⇔ 英語(会話Ⅱ)	1
	フランス語基礎Ⅰ	1		⇔ 英語(リスニング)	1
	フランス語基礎Ⅱ	1		⇔ 基礎独語Ⅰ	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1		⇔ 基礎独語Ⅱ	1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1		⇔ 実用独語Ⅰ	1
	中国語基礎Ⅰ	1		⇔ 実用独語Ⅱ	1
	中国語基礎Ⅱ	1		⇔ 基礎仏語Ⅰ	1
	中国語コミュニケーションⅠ	1		⇔ 基礎仏語Ⅱ	1
	中国語コミュニケーションⅡ	1		⇔ 実用仏語Ⅰ	1
	日本語コミュニケーションⅠ	1	※注5	⇔ 実用仏語Ⅱ	1
	日本語コミュニケーションⅡ	1	※注5	⇔ 基礎中国語Ⅰ	1
	日本語リテラシーⅠ	1	※注5	⇔ 基礎中国語Ⅱ	1
日本語リテラシーⅡ	1	※注5	⇔ 実用中国語Ⅰ	1	
発展多言語演習ドイツ語	1	※注6	⇔ 実用中国語Ⅱ	1	
			⇔ 日本語	1	
			⇔ 日本語	1	
			⇔ 中級ドイツ語セミナー1	1	
			⇔ 中級ドイツ語セミナー2	1	
			⇔ CALLセミナー	1	
			⇔ 海外研修・留学英語準備セミナー	1	
保健体育系	健康・スポーツ／実技	1		⇔ 身体と運動の科学	1
	健康・スポーツ／講義	1		⇔ 健康・スポーツ科学	2
情報処理系			対応科目なし	⇔ 保健と福祉	2
	情報処理	2	1単位として読み替える	⇔ 情報処理学	1

※注1 「哲学のすすめ」の単位を修得した場合、「哲学的人間学」、「科学技術論」のいずれかの科目として単位の修得を認める。

※注2 「医療と地域社会」の単位を修得した場合、「医と社会」、「医療と法」、「医療と経済」のいずれかの科目として単位の修得を認める。

※注3 「日本事情」の上限単位数は4単位とする。

※注4 「英語(会話1)」、「英語(会話2)」の両方の単位を修得している場合のみ、「英語リスニング」の読替として、「ESPⅠ (Level-based)」又は「ESPⅡ (Interest-based)」の履修を認める。

※注5 「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「日本語」として単位の修得を認める。また、「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「日本語」として単位の修得を認める。なお、「日本語」の上限単位数は2単位とする。

※注6 「中級ドイツ語セミナー1」の単位を修得していない場合は「中級ドイツ語セミナー1」の読替として、「中級ドイツ語セミナー1」の単位を修得している場合は「中級ドイツ語セミナー2」の読替として、新教養教育「発展多言語演習ドイツ語」の履修を認める。

平成29(2017)年度以前入学者 教養教育科目読替表

【医学部看護学科】

部会名	令和4年度以降に開設する授業科目	単位数	備考	入学時に定められた開設授業科目	単位数
人文科学系	哲学のすすめ	2	※注1	⇔ 哲学的人間学	2
	人間と倫理	2		⇔ 科学技術論	2
	日本文学	2		⇔ 現代のエチカ	2
	日本の歴史と社会	2		⇔ 文学論	2
	西洋の歴史と社会	2		⇔ 日本の歴史と文化	2
	美術	2		⇔ 西洋の歴史と文化	2
	言語表現	2		⇔ 人間と美	2
	異文化間コミュニケーション	2		⇔ 論理と表現	2
	現代と教育	2		⇔ 異文化理解	2
				⇔ 教育学	2
社会科学系	市民生活と法	2		⇔ 比較地域構造論	2
	はじめての経済学	2		⇔ 人間文化科学セミナー	2
	国家と市民	2		⇔ 現代社会と法	2
			対応科目なし	⇔ 経済学	2
自然科学系	自然科学への扉-A	2		⇔ 現代の政治	2
	自然科学への扉-B	2		⇔ 比較地域構造論	2
	自然科学への扉-C	2		⇔ 人間文化科学セミナー	2
理系基盤教育系	生命科学Ⅰ-C	2		⇔ 物理学	2
	生命科学Ⅱ-C	2		⇔ 化学	2
			対応科目なし	⇔ 数学	2
医療・健康科学系	医療と地域社会	2	※注2	⇔ 生命科学Ⅰ	2
	医療心理学	2		⇔ 生命科学Ⅱ	2
	免疫学入門	2		⇔ 自然現象のモデル化とその解析	2
			対応科目なし	⇔ 量子化学入門	2
			対応科目なし	⇔ 統計数字の読み方	2
			対応科目なし	⇔ 医と社会	2
総合科目系	ジェンダー	2		⇔ 医療と法	2
	日本事情／芸術文化	2	※注3	⇔ 医療と経済	2
	日本事情／自然社会	2	※注3	⇔ 心の科学	2
外国語系	基盤英語Ⅰ	1		⇔ 医療統計学	2
	ESPⅠ (Level-based)	1		⇔ 生体防御の戦略と戦術	2
	基盤英語Ⅱ	1		⇔ 行動科学	2
	ESPⅡ (Interest-based)	1		⇔ 保健と福祉	2
			対応科目なし	⇔ 運動と人間	2
			対応科目なし	⇔ ジェンダー論	2
			対応科目なし	⇔ 英語Ⅰ	1
	ドイツ語基礎Ⅰ	1	※注4	⇔ 英語Ⅱ	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1	※注4	⇔ 英語Ⅲ	1
	ドイツ語基礎Ⅱ	1	※注5	⇔ 英語Ⅳ	1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1	※注5	⇔ 英語Ⅴ	1
	フランス語基礎Ⅰ	1	※注6	⇔ 英語Ⅵ	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1	※注6	⇔ 英語Ⅶ	1
	フランス語基礎Ⅱ	1	※注7	⇔ 独語Ⅰ	1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1	※注7	⇔ 独語Ⅱ	1
	中国語基礎Ⅰ	1	※注8	⇔ 仏語Ⅰ	1
	中国語コミュニケーションⅠ	1	※注8	⇔ 仏語Ⅱ	1
	中国語基礎Ⅱ	1	※注9	⇔ 中国語Ⅰ	1
	中国語コミュニケーションⅡ	1	※注9	⇔ 中国語Ⅱ	1
	日本語コミュニケーションⅠ	1	※注10	⇔ 日本語	1
	日本語コミュニケーションⅡ	1	※注10	⇔ 日本語	1
	日本語リテラシーⅠ	1	※注10	⇔ 中級ドイツ語セミナー1	1
	日本語リテラシーⅡ	1	※注10	⇔ 中級ドイツ語セミナー2	1
発展多言語演習ドイツ語 ※注11	1	※注11	⇔ CALLセミナー	1	
		対応科目なし	⇔ 海外研修・留学英語準備セミナー	1	
		対応科目なし	⇔ 健康・スポーツ科学	2	
保健体育系	健康・スポーツ／講義	1		⇔ 身体と運動の科学	1
	健康・スポーツ／実技	1		⇔ 保健と福祉	2
情報処理系	情報処理	2		⇔ 医療情報処理	2

※注1 「哲学のすすめ」の単位を修得した場合、「哲学的人間学」、「科学技術論」のいずれかの科目として単位の修得を認める。

※注2 「医療と地域社会」の単位を修得した場合、「医と社会」、「医療と法」、「医療と経済」のいずれかの科目として単位の修得を認める。

※注3 「日本事情」の上限単位数は4単位とする。

※注4 「ドイツ語基礎Ⅰ」、「ドイツ語コミュニケーションⅠ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「独語Ⅰ」として単位の修得を認める。

※注5 「ドイツ語基礎Ⅱ」、「ドイツ語コミュニケーションⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「独語Ⅱ」として単位の修得を認める。

※注6 「フランス語基礎Ⅰ」、「フランス語コミュニケーションⅠ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「仏語Ⅰ」として単位の修得を認める。

※注7 「フランス語基礎Ⅱ」、「フランス語コミュニケーションⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「仏語Ⅱ」として単位の修得を認める。

※注8 「中国語基礎Ⅰ」、「中国語コミュニケーションⅠ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「中国語Ⅰ」として単位の修得を認める。

※注9 「中国語基礎Ⅱ」、「中国語コミュニケーションⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「中国語Ⅱ」として単位の修得を認める。

※注10 「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」のいずれかの単位を修得した場合、「日本語」として単位の修得を認める。また、「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「日本語」として単位の修得を認める。なお、「日本語」の上限単位数は2単位とする。

※注11 「中級ドイツ語セミナー1」の単位を修得していない場合は「中級ドイツ語セミナー1」の読替として、「中級ドイツ語セミナー1」の単位を修得している場合は「中級ドイツ語セミナー2」の読替として、「発展多言語演習ドイツ語」の履修を認める。

平成29(2017)年度以前入学者 教養教育科目読替表

【薬学部】

部会名	令和4年度以降に開設する授業科目	単位数	備考		入学時に定められた開設授業科目	単位数
人文科学系	人間と倫理	2		⇔	現代のエチカ	2
	哲学のすすめ	2	※注1	⇔	哲学的人間学	2
	日本の歴史と社会	2		⇔	科学技術論	2
	異文化間コミュニケーション	2		⇔	日本の歴史と文化	2
	現代と教育	2		⇔	異文化理解	2
	日本文学	2		⇔	教育学	2
	西洋の歴史と社会	2		⇔	文学論	2
	美術	2		⇔	西洋の歴史と文化	2
	言語表現	2		⇔	人間と美	2
					⇔	論理と表現
社会科学系			対応科目なし		比較地域構造論	2
			対応科目なし		人間文化科学セミナー	2
	市民生活と法	2		⇔	現代社会と法	2
	国家と市民	2		⇔	現代の政治	2
	はじめての経済学	2		⇔	経済学	2
理系基盤教育系			対応科目なし		比較地域構造論	2
			対応科目なし		人間文化科学セミナー	2
	生命科学Ⅰ-B	2		⇔	生命科学Ⅰ	2
	生命科学Ⅱ-B	2		⇔	生命科学Ⅱ	2
	生物学実験-B	1		⇔	生物学実験	1
	解析学-B	2		⇔	解析学	2
	物理学Ⅰ-A・B	2		⇔	物理学Ⅰ	2
	物理学Ⅱ-A・B	2		⇔	物理学Ⅱ	2
	基礎化学-B	2		⇔	基礎化学	2
	化学・物理学実験-B	1	必ず担当教員に申告し、履修指示を受けること	⇔	化学実験	1
医療・健康科学系			対応科目なし	⇔	物理学実験	1
			対応科目なし	⇔	線形代数学	2
			対応科目なし	⇔	自然現象のモデル化とその解析	2
			対応科目なし	⇔	量子化学入門	2
			対応科目なし	⇔	統計数字の読み方	2
総合科目系	医療と地域社会	2	※注2	⇔	医療と法	2
	医療心理学	2		⇔	医療と経済	2
	免疫学入門	2		⇔	医と社会	2
			専門科目	⇔	心の科学	2
			対応科目なし	⇔	生体防御の戦略と戦術	2
外国語系			対応科目なし	⇔	行動科学	2
			対応科目なし	⇔	保健と福祉	2
	ジェンダー	2		⇔	運動と人間	2
	日本事情／芸術文化	2	※注3	⇔	ジェンダー論	2
	日本事情／自然社会	2	※注3	⇔	日本事情	2
	基盤英語Ⅰ	1		⇔	英語Ⅰ	1
	ESPⅠ(Level-based)	1		⇔	英語Ⅱ	1
	基盤英語Ⅱ	1		⇔	英語Ⅲ	1
	ESPⅡ(Interest-based)	1		⇔	英語Ⅳ	1
	ドイツ語基礎Ⅰ	1		⇔	基礎独語Ⅰ	1
	ドイツ語基礎Ⅱ	1		⇔	基礎独語Ⅱ	1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1		⇔	実用独語Ⅰ	1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1		⇔	実用独語Ⅱ	1
	フランス語基礎Ⅰ	1		⇔	基礎仏語Ⅰ	1
	フランス語基礎Ⅱ	1		⇔	基礎仏語Ⅱ	1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1		⇔	実用仏語Ⅰ	1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1		⇔	実用仏語Ⅱ	1
	中国語基礎Ⅰ	1		⇔	基礎中国語Ⅰ	1
	中国語基礎Ⅱ	1		⇔	基礎中国語Ⅱ	1
	中国語コミュニケーションⅠ	1		⇔	実用中国語Ⅰ	1
中国語コミュニケーションⅡ	1		⇔	実用中国語Ⅱ	1	
日本語コミュニケーションⅠ	1	※注4	⇔	日本語	1	
日本語コミュニケーションⅡ	1	※注4	⇔	日本語	1	
日本語リテラシーⅠ	1	※注4	⇔	日本語	1	
日本語リテラシーⅡ	1	※注4	⇔	日本語	1	
				⇔	CALLセミナー	1
				⇔	海外研修・留学英語準備セミナー	1
保健体育系	健康・スポーツ／実技	1		⇔	身体と運動の科学	1
	健康・スポーツ／講義	1		⇔	健康・スポーツ科学	2
			対応科目なし		保健と福祉	2
情報処理系	情報処理	2	1単位として読み替える	⇔	情報処理学	1

※注1 「哲学のすすめ」の単位を修得した場合、「哲学的人間学」、「科学技術論」のいずれかの科目として単位の修得を認める。

※注2 「医療と地域社会」の単位を修得した場合、「医と社会」、「医療と法」、「医療と経済」のいずれかの科目として単位の修得を認める。

※注3 「日本事情」の上限単位数は4単位とする。

※注4 「日本語コミュニケーションⅠ」、「日本語コミュニケーションⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「日本語」として単位の修得を認める。また、「日本語リテラシーⅠ」、「日本語リテラシーⅡ」のいずれかの科目の単位を修得した場合、「日本語」として単位の修得を認める。なお、「日本語」の上限単位数は2単位とする。

平成29(2017)年度以前入学者 教養教育科目読替表

【芸術文化学部】

部会名	令和4年度以降に開設する授業科目	単位数	備考		入学時に定められた開設授業科目	単位数
人文科学系	人間と倫理	2		⇔	思想と倫理	2
	日本の歴史と社会	2	※注	⇔	歴史の世界	2
	東洋の歴史と社会	2	※注	⇔		
	西洋の歴史と社会	2	※注	⇔		
			対応科目なし			
	文学と芸術	2	専門科目(高岡開講)	⇔	世界の英語	2
		対応科目なし		英米文学入門	2	
社会科学系	現代社会論	2		⇔	中国の言語と文化	2
	国家と市民	2		⇔	社会理論と現代	2
	産業と経済を学ぶ	2		⇔	法と政治	2
自然科学系	自然科学への扉-B	2		⇔	産業と経済	2
	自然科学への扉-B	2		⇔	化学物質の世界	2
	生命の世界	2		⇔	生命環境	2
	建築とリサイクル		専門科目(高岡開講) R4のみ開講	⇔	建築とリサイクル	2
総合科目系			対応科目なし		芸術文化リテラシー	2
			対応科目なし		心(こころ)、身体(からだ)、そして生命(いのち)	2
外国語系	ESP I (Level-based)	1		⇔	イングリッシュ・コミュニケーション入門1	1
	ESP II (Interest-based)	1		⇔	イングリッシュ・コミュニケーション入門2	1
			対応科目なし	⇔	英文表現・理解A-1	2
	旧カリキュラム 「英文表現・理解A-2」【必修科目】	2	・高岡開講 ・H29以前入学者のみ対象 ・未修得者の状況に応じて開講予定	⇔	英文表現・理解A-2	2
			対応科目なし		中国語会話1	2
			対応科目なし		中国語会話2	2
			対応科目なし		中国語作文1	2
			対応科目なし		中国語作文2	2
			対応科目なし		フランス語会話1	2
			対応科目なし		フランス語会話2	2
			対応科目なし		フランス語作文1	2
			対応科目なし		フランス語作文2	2
			対応科目なし		イングリッシュ・コミュニケーション中級1	1
			対応科目なし		イングリッシュ・コミュニケーション中級2	1
			対応科目なし		英文表現・理解B-1	2
			対応科目なし		英文表現・理解B-2	2
			対応科目なし		資格の英語A	2
			対応科目なし		資格の英語B	2
			対応科目なし		中国語読解1	2
			対応科目なし		中国語読解2	2
		対応科目なし		フランス語読解1	2	
		対応科目なし		フランス語読解2	2	
保健体育系	健康・スポーツ/実技	1		⇔	健康スポーツ1	1
	健康・スポーツ/実技	1		⇔	健康スポーツ2	1
	健康・スポーツ/講義	1			健康スポーツ論	1
情報処理系	情報処理	2		⇔	情報処理基礎	2
			対応科目なし		プログラミング・リテラシー	2
			対応科目なし		情報処理応用	2
			対応科目なし		情報の世界	2

※注 「歴史の世界」の単位を修得していない者は、「日本の歴史と社会」、「東洋の歴史と社会」又は「西洋の歴史と社会」のうち、いずれか1科目において、「歴史の世界」として単位の修得を認める。